

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 1月22日(月) 14287号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号
TEL: 06-6353-7831
FAX: 06-6353-7832
MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は1万円引き上げの127万円

1月の月内建値平均は125万8,900円

JX金属は19日、電気銅建値を1万円引き上げの127万円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は125万8,900円。

19日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,189.00ドル。19日の東京市場の米ドルTTSレートは149.19円。この値で換算した採算価格は、122万1,700円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万8,300円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2023年

8月…1310(1) 1270(3) 1260(8) 1250(15) 1260(22) 1270(25)	平均1266.0
9月…1280(1) 1300(6) 1280(8) 1290(14) 1270(20) 1260(26)	平均1277.8
10月…1280(2) 1240(4) 1220(6) 1230(12) 1240(19) 1250(25)	平均1241.5
11月…1270(1) 1280(7) 1270(10) 1290(16) 1300(27)	平均1283.1
12月…1300(1) 1270(6) 1250(8) 1230(14) 1250(18) 1280(20)	平均1267.3

2024年

1月…1250(4) 1240(10) 1260(16) 1270(19)	平均1258.9
---------------------------------------	----------



黄銅削粉買値は4円引き上げの891円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は19日、黄銅削粉買値を4円引き上げの891円と発表した。

今月4回目の改定。1月の月内買値平均は884.6円。



亜鉛建値は6,000円引き下げの42万4,000円

1月の月内建値平均は42万5,300円

三井金属鉱業は19日、電気亜鉛建値を6,000円引き下げの42万4,000円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は42万5,300円。

19日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は2,440.50ドル。19日の東京市場の米ドルTTSレートは149.19円。この値で換算した採算価格は、36万4,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

11月… 424(1) 448(7) 457(10) 454(15) 448(20) 439(27)	平均444.7
12月… 427(1) 415(6) 403(11) 406(14) 430(19) 427(22)	平均418.5

2024年

1月… 430(4) 421(10) 430(16) 424(19)	平均425.3
------------------------------------	---------

2023年

8月… 427(1) 415(4) 418(10) 388(17) 403(28)	平均406.4
9月… 412(1) 421(6) 415(11) 430(14) 436(21) 439(26)	平均426.4
10月… 457(2) 424(5) 421(11) 418(17) 421(23) 427(26)	平均427.1

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp



木村金属株式会社
06-6552-7840

大阪市大正区

非鉄金属市況・需給動向11月報告
 住友金属 E V 正極材増強を計画
 ニッケル 供給過剰傾向続く
 JOGMEC

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（高原一郎理事長）がこのほど発表した市況動向11月報告によると、世界のニッケル需給バランスは供給過剰傾向が継続。住友金属鉱山は電気自動車（EV）の需要増に対応するため正極材生産の増強を計画している。

■需要動向（11月発表分）

①2023年9月プライマリーニッケル需給バランス：国際ニッケル研究会（INSG）11月発表によると、9月の世界ニッケル需給バランスは23.9千tの供給過剰となった。

②9月のインドネシア（尼）ニッケル生産・輸出状況：INSGの国別データによると、インドネシアのプライマリーニッケル生産量が121.8千t（前月118.7千t、前月比2.6%増）となった。また、同国からのニッケルマットの輸出は、中国向けが前月比40%減、日本向けが前月比5%増となった。中国向けは2か月連続で減少している一方、2022年以降初めてオランダへの輸出が6,889tあった。

■関連動向

①尼、RKAB承認遅れで製錬所用の鉱石不足：Sulawesi島の製錬所では、エネルギー鉱物資源省による2023年のRKAB（作業計画と予算）の承認が遅れているため、鉱石供給が不足している模様。遅れの原因は、同省がPT AntamのMandiodo鉱区に関する汚職事件の対応に追われたため。既にSulawesi島の複数の炉が鉱石不足で停止した（7日）。

②住友金属鉱山、正極材増産を計画：電気自動車（EV）の需要増加に対応するため、正極材の生産能力を現在の60,000t/年から2025年までに24,000t/年増強を計画（16日）。

世界を結ぶ循環流通サービス
 原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
 tel:06-6444-1521~1530
 東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
 tel:03-5282-4800
 名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
 tel:052-571-2005
 海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
 マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム
<http://www.ogico.co.jp>

③ロンドン金属取引所、取引停止の裁判で勝利：2022年3月にロンドン金属取引所（LME）がニッケル約定を無効とした件について、米Elliott Associates社と米Jane Street Global Trading社は、損害賠償を求めてLMEを起訴していた。ロンドン高等裁判所は、LMEは例外的に取引を取り消すことができ、その決定前に市場関係者に相談する義務はない、との判決を下した（30日）。

■企業動向

①Nornickel社（露）：2023年は「地政学的なマイナス要因」のため、14年ぶりに2022年の決算配当を見送った。取締役会は、1株を100株に分割する株式分割を投資促進とボラティリティ削減のため承認（3日）。

②Vale Canada（加）/住友金属鉱山（日）：PT Vale Indonesia（PTVI）の株式14%をインドネシア鉱業株式会社MIND IDに売却する合意書に署名（18日）。

③African Rainbow Minerals社（南ア）：南ア Nkomati鉱山の権益50%を180万US\$でJV パートナーである露Nornickel社から譲渡（25日）。

鑄物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等

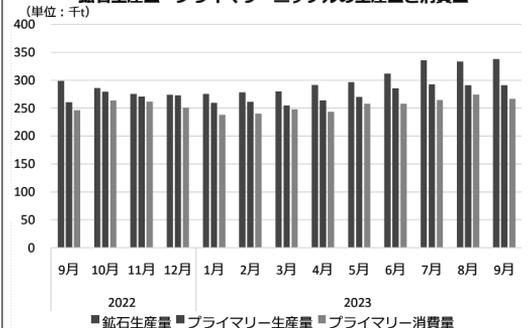


角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)

鉱石生産量・プライマリーニッケルの生産量と消費量



鉱石生産量・プライマリーニッケルの生産量と消費量

日刊金属
 外電配信料
(税込)

6カ月:46,200円
 12カ月:92,400円

アルミ業界2023年 重大ニュース ②

トップ3 環境・循環対応を反映

日本アルミニウム協会

⑥鉄道車両のアルミ化率が初の60%台、相次ぐアルミ合金製新型車両の運行開始など、アルミ車両の明るい話題に沸く

6月、アルミニウム車両委員会は、2022年度のアルミ合金製車両生産実績を発表。普通鉄道、モノレール、新交通システムの生産総数は1,028両と2年ぶりに1,000両を超え、アルミ化率は62.3%と初めて60%台となった。また、5月にJR北海道・新型車両737系、6月に大阪メトロ・新型車両400系、7月に東武鉄道・新型特急スペーシアXと、相次いでアルミ合金製新型車両の運行を開始するなど、アルミ車両の明るい話題に沸いた。

⑦アルミ協会、サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップに参画

アルミ協会は、経済産業省が昨年9月に立ち上げた「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」に10月に参画。他の産業や政府、学識者との連携を図りつつ、アルミリサイクルの拡大を通じて脱炭素及び資源循環を推進。

⑧アルミ協会、物流の自主行動計画策定・公表に向けた取組みを実施

物流の2024年問題に対し、政府は発荷主事業者、着荷主事業者、物流事業者が取り組むべき事項を掲げたガイドラインを策定。アルミ協会を含む荷主事業者団体に対し自主行動計画の策定依頼があったのを受け、WGメンバーを設置して策定方針、物流改善への取組み、活動スケジュールなどについて種々検討し、自主行動計画の策定・公表に向けた取組みを実施した。

⑨自動車材の需要が急回復

2023年1-10月期の自動車向けのアルミ圧延品出荷量は280千ト(前年同期比: +14.7%)と急回復。背景には、半導体や部品供給不足の解消が進んで国内自動車生産が回復したことに加え、アルミパネル材の増加やトラック向けが好調だったことにある。

⑩ロシアからのアルミ地金輸入量が急減

ロシアのウクライナ侵攻に関連し、2023年1月-10月期のロシアからのアルミ地金輸入量は123,031ト、前年同期の348,465トと比べると▲64.7%と大きく減少。

⑪歴史的なアルミ製品、重要科学技術史資料に登録

「日本でのジュラルミン開発を加速させた破片」(株)UACJ所有)と「日本の航空機を発展させたアルミニウム合金開発の痕跡」(同)が、国立科学博物館の2023年度「重要科学技術史資料」(未来技術遺産)に登録された。

⑫アルミ協会、コストや価格転嫁に関する第2回アンケート調査を実施、その結果をリリース

アルミ協会は、昨年に続き、会員企業を対象にアルミ製造に係るコスト及び価格転嫁の状況に関するアンケート調査を実施。12月の記者会見でリリース、ホームページに掲載するなど対外的に公表した。

(おわり)

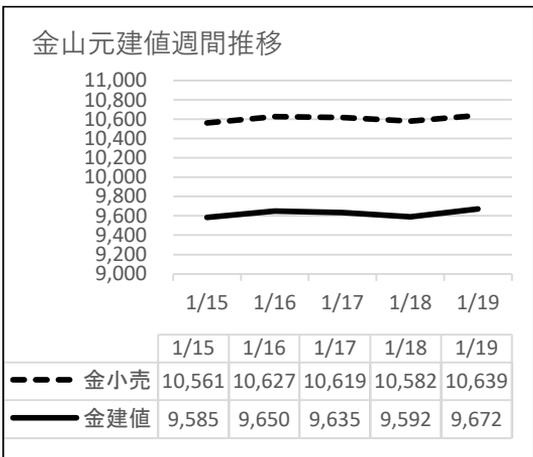
鋼・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

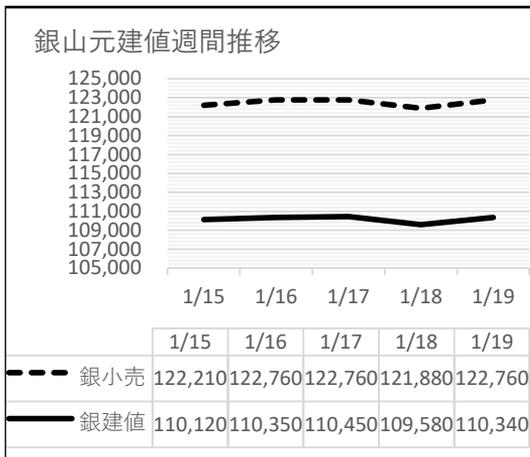
代表取締役 岡本宜三
大阪府堺市美原区黒山 696
☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

金銀山元建値週間推移

1月15日~1月19日



	12月平均	建 値	小 売
金(¥/g)		9,459.26	10,434.00
銀(¥/kg)		113,580	126,230



故銅市況

19日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,230.00ドルより41.00ドル安の8,189.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,174.25ドルより49.55ドル高の8,223.80ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,323.00ドルより43.00ドル安の8,280.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,268.00ドルより42.00ドル高の8,310.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の3月限は、前営業日の373.30セントより1.20セント高の374.50セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の3月限は、前営業日の6万7,930元より220元安の6万7,710元。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(1月19日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1102~1107、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1067~1072、並銅は1032~1042、込銅(高品位=約97%)は1022、セバは715~720。コーペルは要り用筋で656、それ以外は641ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋666、それ以外636~646どころの値頃。並青銅鋳物削粉は903~908どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1082~1102、上銅新くずが1047~1067、普通上銅が1022~1042、2号銅線が1014~1034、並銅が1012~1032、込銅(94-97%)が960、込銅(90-93%)が962、下銅が504~554、セバが680~715、コーペルが596~641、黄銅棒地が591~636、黄銅削粉が586~631、黄銅ラジが551~559、交叉ラジが599~656、黄銅銅鋳物が575~582、送りが347~366、上青銅鋳物が900~920、並青銅鋳物が880~895、上青銅鋳物削粉が895~915、並青銅鋳物削粉が870~890どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(1月後半)

2S=188円~209円、63S=173円~224円、アルミホイール(1P)=190円~204円、ビス付サッシ=86円~95円、エンジンコロ=87円~99円、込合金(機械鋳物)=87円~95円、缶プレス(ソフト)=57円~67円。

関西地区(1月後半)

2S=202円~214円、63S=205円~239円、印刷版=200円~202円、アルミホイール(1P)=195円~236円、ベースメタル=121円~126円、機械鋳物=82円~86円、ダライ粉=99円~102円、ビス付サッシ=87円~112円、缶プレス=70円~75円。

19日の東京為替市場TTSレートは、前日の149.26円より0.07円の円高ドル安、1ドル=149.19円。19日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,189.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USDollar TTSレートから計算した国内採算値は、前日の126万6,000円より7,000円安の125万9,000円。この日、電気銅建値は127万円に引き上げられた。

為替動向

18日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで小幅ながら上昇した。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0850ドル~1.0860ドルで推移した。前日、凡そ1か月ぶりのユーロ安水準を付けたこともあり利益確定目的のユーロ買いドル売りが出た。英ポンドも対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0020ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2670ドル~1.2680ドルで推移した。

18日のニューヨーク外国為替市場で円相場は横ばいだった。前日と同水準の1ドル=148.10円~148.20円で取引を終えた。この日の朝発表された米国の週間新規失業保険申請件数が18万7,000件と市場予想の20万8,000件を下回った。22年9月以来の低水準で底堅い米国の労働市場を意識させる内容だったことから長期金利が上昇、日米の金利差拡大を見込み円売りドル買いが先行。ただ、前日に23年11月以来の円安を付けていたことから持ち高調整の円買しも入った。

19日午前の東京外国為替市場で円相場は弱含みに推移した。10時、前日17時と比べ0.26円の円安ドル高、1ドル=148.02円~148.04円だった。米景気の底堅さを反映し円売りドル買いが優勢になっていた。円は対ユーロでも安値圏で推移。10時、前日17時と比べ0.17円の円安ユーロ高、1ユーロ=161.04円~161.06円だった。

鉛屑・半田屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨瀧 卓

奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

高価買取ります

日刊金属 既刊収録サイト



<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME銅相場は続落 直物終値は8,223.80ドル

COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場は反落

LME非鉄相場は概して軟調 直物終値は亜鉛2,449.24ドル、アルミ2,118.24ドル



19日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月18日入電の8,230.00ドルより41.00ドル安の8,189.00ドル。2営業日の続落で0.60%安。この週1.21%の下落。1月に入って3.39%の下落。3か月物の前場売値は、1月18日入電の8,323.00ドルより43.00ドル安の8,280.00ドル。2営業日の続落で0.72%安。この週1.31%の下落。1月に入って3.50%の下落。

LME公認倉庫の現地1月17日銅在庫は、前日の15万4,075トンより3,250トン増の15万7,325トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月18日入電の373.25セントより1.25セント高の374.50セント。反発して0.33%高。この週0.13%の上伸。1月に入って3.49%の下落。2月限は、1月18日入電の373.15セントより1.25セント高の374.40セント。反発して0.33%高。この週0.13%の上伸。1月に入って3.58%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、2月限が、1月18日入電の6万7,900元より200元安の6万7,700元。反落して0.29%安。この週0.57%の下落。1月に入って1.84%の下落。中心限月に当たる3月限は、1月18日入電の6万7,930元より220元安の6万7,710元。反落して0.32%安。この週0.53%の下落。1月に入って1.81%の下落。

錫は続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月18日入電の2万5,025.00ドルより175.00ドル高の2万5,200.00ドル。2営業日の続伸で2.65%高。この週3.49%の上伸。1月に入って0.10%の上伸。3か月物の前場売値は、1月18日入電の2万5,250.00ドルより150.00ドル高の2万5,400.00ドル。2営業日の続伸で2.21%高。この週2.83%の上伸。1月に入って0.39%の下落。

LME公認倉庫の現地1月17日錫在庫は、前日の7,015トンより5トン増の7,020トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月18日入電の2,033.00ドルより3.00ドル安の2,030.00ドル。2営業日の続落で1.36%安。この週1.36%の下落。1月に入って0.05%の下落。3か月物の前場売値は、1月18日入電より横ばいの2,061.00ドル。この週1.32%の下落。1月に入って0.34%の下落。

LME公認倉庫の現地1月17日鉛在庫は、前日の11万4,350トンより1,725トン減の11万2,625トン。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月18日入電の2,487.00ドルより46.50ドル安の2,440.50ドル。3営業日の続落で3.73%安。この週1.59%の下落。1月に入って7.57%の下落。3か月物の前場売値は、1月18日入電の2,506.00ドルより51.00ドル安の2,455.00ドル。3営業日の続落で3.97%安。この週1.92%の下落。1月に入って7.50%の下落。

LME公認倉庫の現地1月17日亜鉛在庫は、前日の20万5,700トンより1,575トン減の20万4,125トン。

アルミも続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月18日入電の2,142.00ドルより11.50ドル安の2,130.50ドル。2営業日の続落で1.05%安。この週2.05%の下落。1月に入って8.78%の下落。3か月物の前場売値は、1月18日入電の2,189.50ドルより13.50ドル安の2,176.00ドル。2営業日の続落で1.32%安。この週2.14%の下落。1月に入って8.65%の下落。

LME公認倉庫の現地1月17日アルミ在庫は、前日の55万7,675トンより万1,375トン減の55万6,300トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月18日入電より横ばいの2,035.00ドル。この週14.01%の上伸。1月に入って31.29%の上伸。3か月物の前場売値も、1月18日入電より横ばいの2,035.00ドル。この週14.01%の上伸。1月に入って31.29%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月18日入電より横ばいの2,285.00ドル。この週横ばい。1月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、1月18日入電より横ばいの2,285.00ドル。この週横ばい。1月に入って横ばい。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月18日入電の1万5,765.00ドルより105.00ドル高の1万5,870.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.67%高。この週1.28%の下落。1月に入って2.64%の下落。3か月物の前場売値は、1月18日入電の1万6,010.00ドルより115.00ドル高の1万6,125.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.72%高。この週1.38%の下落。1月に入って2.69%の下落。

LME公認倉庫の現地1月17日ニッケル在庫は、前日の6万9,510トンより72トン減の6万9,438トン。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: nikkin202401

LME公示価格(US\$)/1月18日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,189.00	25,200.00	2,030.00	2,440.50	2,130.50	2,035.00	2,285.00	15,870.00
	前営業日比	▲ 41.00	175.00	▲ 3.00	▲ 46.50	▲ 11.50	0.00	0.00	105.00
先物	公示価格	8,280.00	25,400.00	2,061.00	2,455.00	2,176.00	2,035.00	2,285.00	16,125.00
	前営業日比	▲ 43.00	150.00	0.00	▲ 51.00	▲ 13.50	0.00	0.00	115.00

海外非鉄金属相場

(1月19日 入電・現地 1月18日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

銅 AG 前場 後場
現物 8188.0 8189.0 8167.0
先物 8276.0 8280.0 8255.5 8310.0
出来高 前日比 43.0 49.0 132,327

錫 HG 前場 後場
現物 25150.0 25200.0 25020.0
先物 25350.0 25400.0 25230.0 25357.0
出来高 前日比 150.0 50.0 5,634

鉛 前場 後場
現物 2029.0 2030.0 2034.5
先物 2060.0 2061.0 2064.0 2076.5
出来高 前日比 0.0 1.0 65,123

亜鉛 SHG 前場 後場
現物 2440.0 2440.5 2436.0
先物 2453.0 2455.0 2451.5 2462.5
出来高 前日比 51.0 24.0 75,522

アルミ HG 前場 後場
現物 2130.0 2130.5 2121.0
先物 2175.0 2176.0 2168.5 2163.5
出来高 前日比 13.5 14.5 299,893

アルミ合金 前場 後場
現物 2025.0 2035.0 2035.0
先物 2025.0 2035.0 2035.0 2035.0
出来高 前日比 0.0 0.0 0

北米特殊アルミ合金 前場 後場
現物 2275.0 2285.0 2285.0
先物 2275.0 2285.0 2285.0 2285.0
出来高 前日比 0.0 0.0 0

ニッケル 前場 後場
現物 15860.0 15870.0 15856.0
先物 16100.0 16125.0 16089.0 16156.0
出来高 前日比 115.0 51.0 36,255

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
銅HG 金 銀 プラチナ パラジウム
1月限 374.50 2018.6 2266.7 903.3 936.90
2月限 374.40 2021.6 2269.9 905.7 940.50
3月限 374.50 2031.1 2280.7 910.3 944.00
4月限 375.95 2041.1 - 912.0 -
5月限 377.05 - 2302.9 - -
前日比 1.25 16.0 15.1 20.5 23.70
出来高 94,098 199,315 47,718 25,542 3,931

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)
LME (円ベース/キロ) COMEX 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル
銅 8189 25200 2030 2441 2131 15870
錫 1263 3960 340 404 334 2568
鉛 149.19 1263 3960 340 404 334
亜鉛 0.07 7 25 1 7 1
アルミ 14
ニッケル 3
銅 375
錫 67700
鉛 18795
亜鉛 20860
アルミ 18795
錫 392
鉛 435
銅 338
亜鉛 5
アルミ 1

フリー・マーケット
米国生産者価格(地金)
銀(セント/オンス) EH社 2250.0 (▲25.0)
銀(セント/オンス) HH社 2265.0 (8.5)

NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.35 - 257.35
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 - 357.35

ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 2013.20 (1.45)
アンチモン99.65%(トン) 11200 - 11500
ビスマス99.9%(ポンド) 3.90 - 4.10
カドミウム99.99%(ポンド) 1.95 - 2.05
インジウム99.99%(キロ) 240 - 270
セレンウム99.5%(ポンド) 9.50 - 10.50
スポンジチタン99.5%(キロ) 12.45 - 13.00
フェロモリブデン欧州産65%(キロ) 43.00 - 43.00
コバルトカソード99.8%(ポンド) 17.50 - 18.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 3250 - 3250
タングステンAPT(純分10キロ) 325.0 - 335.0
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 65 - 69

KLT M 錫 (MYR/KG, 出来高トン)
(18日) (19日)
相場 - -
出来高 - -
ドル建て価格 - -
ODレート 3.7600 3.7600
M\$/US\$レート 4.7164 4.7156
採算円/キロ - -
US\$採算円/キロ - -

LME 在庫(トン)
(1/17現在)
銅 157,325 増減 3,250
錫 7,020 5
鉛 112,625 ▲1,725
亜鉛 204,125 ▲1,575
アルミ 556,300 ▲1,375
アルミ合金 1,820 ▲20
北米特殊アルミ合金 760 ▲20
ニッケル 69,438 ▲72

上海在庫(トン)
(1/12現在)
銅 43,085 増減 9,955
アルミ 96,667 30
亜鉛 25,124 3,310
鉛 58,111 5,662
ニッケル 14,193 729

LME プレマーケット(ドル)
先物気配
(1/19)
銅 8,324.0 - 8,325.0
(3:00AM現地)
錫 25,355.0 - 25,440.0
鉛 2,088.5 - 2,090.0
亜鉛 2,472.0 - 2,473.5
アルミ 2,175.0 - 2,176.0
ニッケル 16,245.0 - 16,255.0

上海相場
トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛 ニッケル
2月限 67700 18795 20860 16200 127260
3月限 67710 18765 20855 16215 127450
前日比 ▲200 ▲105 ▲325 0 ▲380
出来高 31173 31972 45058 9600 136514

※19日のKLT Mは入電がありません
元・円= 20.85
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル
銅 375
錫 67700
鉛 18795
亜鉛 20860
アルミ 18795
錫 392
鉛 435
銅 338
亜鉛 5
アルミ 1

非鉄金属製品相場

(1月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◎ 1620	1605	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F
建築用0.3ミリ	◎ 1670	1655	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6 59~61
銅大板2×1×2	◎ 1750	1805	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0 104~107
銅管(ベース)	◆ 1800	1805	鉛板1.5ミリ	◎ 600	◎ 600	3C×1.6 109~112
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 1710	1715	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 157~160
銅棒25ミリ	◎ 1530	1575	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◎ 1585	1620	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm 33.8~36
銅線0.9ミリ	◎ 1610	1635	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq 92.7~98.6
銅帯6×50	◎ 1490	1575	〃 大板1ミリ	775	795	14sq 231~245
銅平角線	◎ 1810	1805	〃 5052板	835	845	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1320	◎ 1315	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38 1765~1876
〃 0.3ミリ	◎ 1350	◎ 1345	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60 2722~2893
黄銅大板2×1×2	◎ 1470	◎ 1495	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100 4570~4858
黄銅管	◆ 1960	1790	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38 2867~3037
復水器用黄銅管	◆ 1930	1760	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60 4022~4260
黄銅棒快削25ミリ	◎ 1070	1090	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)
六角棒	◎ 1100	1120	貴金属(一般小口向け)			3C×2 135~138
四角棒	◎ 1130	1150	白金(グラム)	◎ 4860		4C×2 181~185
鍛造用	◎ 1110	1130	パラジウム(グラム)	◎ 5137		6C×2 258~264
ネーバル	◎ 1210	1230	金(グラム)	◎ 10639		7C×2 296~303
高力	◎ 1210	1230	銀(キログラム)	◎ 122760		合金鉄 11月輸入単価(CIF)
黄銅線6ミリ	◎ 1505	1490	レアメタル輸入価格	11月通関(CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 158
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1705	1700	金属ケイ素(99.99%未満)	345		〃 その他 193.9
黄銅条1.5×100	◎ 1315	1325	モリブデン酸化物	5530		フェロシリコン55%以上 237
リン青銅板一般用1.0ミリ	2920	3110	タンタル	97928		フェロクロム4%以上炭素含有 285
〃 バネ用0.3ミリ	3170	3370	マグネシウム	498		フェロモリブデン純分60%以上 5708
リン青銅棒25ミリ	3030	3240	コバルト	5354		フェロバナジウム 3184
リン青銅線3ミリ	3400	3610	インジウム	33625		フェロニッケル33%未満 562.6
洋白板一般用1.0ミリ	3630	3780				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3760	3930				

減摩合金	1月16日改定	銅合金地金	1月9日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4470	BC 1種	1285
2種	4355	2種	1585
3種	4225	3種	1655
4種	3765	6種	1395
5種	3525	7種	1490
7種	1430	YBSC 3種	1130
8種	1275	LBC 3種	1585
9種	1115	PBC 2種	1685


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1270(19) 金 9,672(19)
 () 実施日 電気鉛 366(18) 銀 110,340(19)
 電気亜鉛 424(19) 錫(99.99%) 5,050(4)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (1月19日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 40,000 ~ 45,000(1)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場		東京 仲間相場		地 金			
	◎上げ	◆下げ	◎上げ	◆下げ	高値	安値	高値	安値
1号銅線	◎1128	◎1119	電 気 銅	◎1233	◎1228	◎1235	◎1230	
2号銅線	◎1086	—	電 気 亜 鉛	◆396	◆390	◆396	◆390	
上銅(新切)	◎1099	◎1089	蒸 留 亜 鉛	◆384	◆378	◆384	◆378	
雑ナゲット	◎964	◎963	再生ダイカスト亜鉛2種	◆325	◆319	◆325	◆319	
並銅	◎1041	◎1025	再 生 亜 鉛 (98%)	◆282	◆276	◆282	◆276	
下銅	◎1022	◎998	電 気 鉛	343	340	343	340	
銅削粉	◎1002	◎998	再 生 鉛 1 号	320	310	320	315	
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	325	321	325	321	
新切黄銅セバ	◎824	◎833	錫 1 号	3800	3750	3800	3750	
コーベル	◎788	◎791	ア ン チ モ ン	1850	1800	1850	1800	
黄銅棒地	◎766	◎779	ニッケル(メッキ用)	2400	2350	2400	2350	
黄銅削粉	◎760	◎775	コ バ ル ト	5100	4800	5100	4800	
並黄銅	◎765	◆720	セ レ ニ ウ ム	3800	3600	3800	3600	
黄銅ラジエター	◎622	◎614	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400	
交叉ラジエター	◎713	◆671	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750	
黄銅鑄物	◎770	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	480	460	480	460	
山送り(55%)	420	—	アルミ地金99.70%	◆359	◆355	◆361	◆357	
上青銅鑄物	◎889	—	アルミ二次地金99%	328	323	328	323	
並青銅鑄物	◎887	◎874	” 90%	308	303	308	303	
上青銅鑄物削粉	◎882	—	アルミ二次合金ADC12	421	416	424	419	
並青銅鑄物削粉	◎872	◎859	鑄 物 用 C2BS	446	441	448	443	
新切リン青銅(仲間)	—	◎1118	青銅合金地金3種	◎1595	◎1585	1665	1655	
” (鑄物)	◎1003	—	” 6種	◎1345	◎1335	1355	1345	
リン青銅削粉	◎921	◎912	ハ ン ダ 錫 60 %	3000	2960	3020	2990	
新切洋白(電子材)	◎933	◎919	” 50 %	2605	2555	2625	2595	
新切亜鉛	260	260	” 40 %	2275	2215	2230	2200	
ダイカストくず	170	170	減 摩 合 金 2 種	4260	4230	4265	4235	
亜鉛ドロス	150	160	” 4 種	3705	3680	3710	3680	
上鉛	192	190	” 7 種	1375	1325	1375	1325	
電池素鉛ケース込	80	80	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		55	60	
活字鉛	171	168		” グライ粉		40	45	
新切アルミ1級	235	242		高耐食ステンレスSUS316		185	185	
新切サッシ1級	237	240		耐熱ステンレスSUS310		285	285	
新切合金1級	227	225		13クローム 新切		28	29	
機械鑄物1級	205	221		ハイス 9種		190	190	
ビス付サッシP	215	215						
合金削粉P	160	164						
込ガラP	133	135						
カン・バラ	158	153						

非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202401